



8/26～9/9の15日間、国際戦略センター（奈良女子大学）主催で、2026年度グローバル女性人材養成プログラム(フィリピン セブ島)を実施し、奈良女子大学から6名が参加しました。
今回の研修先は、QQ English セブ島ITパーク校で、宿泊先はQQ English ITパーク学生寮です。平日は、マンツーマンレッスン50分×4回/日、グループレッスン50分×2回/日のスケジュールでレッスンを受け、休みの日や放課後にはセブ島観光を楽しみました。

参加費の一部は
廣岡栄子国際奨学金
より補助しています

● student's Voice ● (研修後レポートから一部抜粋)

「あなたが学んだこと、感じたことは何ですか？また、この経験を今後どのように活かしていきたいですか？」

- 高校生や大学生のみならず、社会人や退職後の方、高専に通っている子がいたり、ロシア、台湾、韓国など様々な国籍の人がいて、いろいろな価値観に出会えたことが1番良かったです。英語は国境を越えて通じ合える言語でコミュニケーションを取るのが楽しかったです。
- 日常的に使わないと英語は身につかないことを身をもって知りました。普段から意識して英語に触れる時間を作ろうと思います。
- 日本はとても発展していると実感した。フィリピンは毎日のように停電していたので、日本で恵まれた環境にいることをありがたく思ったし、次はボランティア活動に参加したいと思った。
- 正しい英語が話したいと思うことは大切だが、それを気にしすぎていると話せなくなるといった。自分が言いたいことを明確にして、伝えようと話し続けることが人との対話においては1番必要なことだと感じた。文法や単語のニュアンスの違いに気がついて、そこで上手く伝えられなかったと諦めるのは良くないと思った。伝えようと相手に向き合う姿勢を持ち続けることで相手との信頼関係をつくることができると感じた。
- 積極的に話しかけることの大切さと、できるだけ簡潔な文法、単語で文を作ること、口を大きく空けて発音することが伝わりやすさに大きく影響することを学んだ。
- 相手の言っていることはほとんど理解できたが、自分の言いたいことが思ったように言えず語彙力が足りないと思いました。受験で覚えた英単語を覚えたが忘れていたのでこれからも英単語の勉強をしたいと思いました。